

質問紙調査の結果分析より

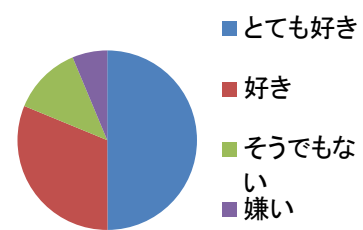
○教科について

- ・国語科の学習が好きな生徒が多く、また、大切だと感じている生徒も多い。
- ・数学の学習は好きな生徒が少なく、学習内容を理解していない生徒が半数いる。

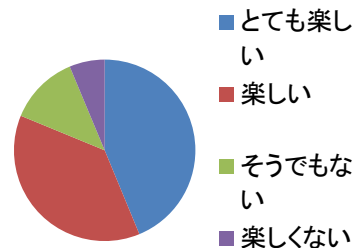
○好きな授業がある生徒の割合は50%強ではあるが学校は楽しいと思っている生徒はとても多い。

○平日、授業以外の学習を半数以上の生徒が、1時間以上しているが、(土)(日)に全くしない生徒が多い。また、自主的に予習、復習を行う生徒が極端に少ない。

国語の勉強は好き？



学校へ行くのが楽しい



調査結果を受けて、本校が具体的に取組んでいくこと

(学習習慣の定着)

- 計画を立て、学習習慣を定着させるための指導方法の確立のため、家庭学習の重要性を継続して唱えていく。
(特に(土)(日)の学習する時間が極端に少なくなる点をふまえて)

(図書館の利用推進)

- 例年に比べ読書を好む生徒は増えてきているものの、ほとんど読書をしない生徒も多いので図書室の環境を整え、利用の促進をはかる。
- 図書室に新聞紙を置き、新聞にも目を通す機会を持たせる。
- 「うちどくコーナー」を図書室前に設置し、テーマを決めて本を並べ、手にとりたくなるような配置にするなど、学校内にいるときは、いつでも本を読める環境を作る。
今後、図書室の常時開放の検討も進めたい。

(授業の工夫)

- わかる授業をテーマに教科の面白さ、楽しさを感じらせる取り組みを行う。
- 生徒同志の教え合い、学び合いの確立。